

令和8年度 プロジェクト会議事業計画

1 プロジェクトのテーマ

次世代型太陽電池の早期社会実装に向けた取組

2 目的

- 次世代型太陽電池の早期社会実装に向けて、令和9年度の量産化を見据え、今から地域の需要創出に向けて準備を進めることが重要であるため、昨年度に引き続き、企業、大学、自治体、金融、団体・県民など産学官金民が参画する本推進会議のプロジェクトテーマとして設定し、オール神奈川で取り組む。
- 令和7年度においては、県連携協定先や県内市町村、需要家、金融機関等で構成されたプロジェクトメンバーにおいて、次世代型太陽電池を実装する際に生じる課題や主体的な取組の検討を行った。
- 令和8年度は、早期社会実装をさらに加速化させていくため、次の段階として、幅広く県内全域の需要家等に対して、先行して得た知見を積極的に共有するとともに、需要創出に向けて開発メーカー等との連携を推進することで、量産化後に県内全域でスムーズに導入が進む「ペロブスカイト Ready」な社会構築により一層取り組む。

3 取組内容及びスケジュール（予定）

日程	取組内容
8月26日 14:00～	第1回プロジェクト会議 ○ 令和8年度 事業計画について ○ 各主体の実装に向けた取組状況について ○ 県の実証・実装の取組 ○ 企業の取組 ○ 市町村の取組 ○ 国の取組
12月中下旬	かながわ次世代型太陽電池シンポジウム ～かながわ発ペロブスカイト・カルコパイライトの社会実装へ～ ○基調講演 ○取組発表 ○交流会

4 シンポジウム計画（案）

（１）開催目的

量産化後に県内全域でスムーズに導入を進めるため、次世代型太陽電池の実装に向けた最新の動向を共有するとともに、開発メーカーと、施工事業者や次世代型太陽電池の設置を検討する企業（需要家）との橋渡し等を行う。

（２）開催場所

かながわ県民センターホール

（〒221-0835 神奈川県横浜市神奈川区鶴屋町 2-24-2）

（３）開催時期

12月18日（金） または 12月21日（月）の午後

（４）参加者

企業、団体、自治体

（５）定員

150名

（６）内容

○基調講演

・次世代型太陽電池の早期社会実装に向けた現状や今後の展望など

○取組発表

・開発メーカー・施工事業者等の最新の動向など

・国や自治体による取組状況報告

○交流会

・製品紹介、展示、名刺交換、個別相談など

以上